

浦安とみおか川柳会

出席者： 塩見和昭、高橋謙哉、谷口勝、長谷川智、三浦みちえ、
光永ひかる、藤三休、山岸順、山口昇柳

二月例会結果

講師： 佐藤青樹

点数
●師
●推
●奨
課題「無欲」互選 講評*佐藤青樹

7 欲が消え感謝に変わる歳となる 勝

句意は分かりますが、リズム感勘案し

欲などは消えて不惑の歳となり

6 アフガンへ逝った哲医師井戸を掘る 欠席者

一読明快の句ですが

アフガンへ散った哲医師残す井戸

5 ボランテイア額の汗に自負がある 順

一読明快の句

ありがとうを勲章にするボランテイア 順

被災者などから感謝される「有難う」が勲章(誇り)

4 欲を捨て初めて見える志 勝

一読明快の句

身の丈が有難いよと仏顔 ひかる

上手くできませんでした

見返りは期待してない家事育児 順

母親のことなら「それは、そうですね」にならないか

3 平凡な毎日こそが宝物 ひかる

一読明快の句

無欲でも食欲だけは捨てられぬ 勝

「それはそうだ」にならないでしょうか

遺産分け家一軒を辞退する みちえ

なぜ辞退するのでしょね。過疎地の古民家なのでしょか

2 飲み放題一杯のみで恵比須顔 みちえ

「一杯のみで恵比須顔」となってもお付き合い

その後はあまり飲めないのでしょうか

無欲にはなれない暮し定年後 智

句意は分かれますが

定年と言えど無欲になれもせず

1 百八つ突く間は縮む欲の皮 和昭

一読明快の句

ボランテイア年金暮し夢を追う 智

年金暮しなれど生き甲斐ボランテイア

日溜りで猫と一緒に船を漕ぐ みちえ

絵が見える句

金高騰どこ吹く風よ老いの今 欠席者

中七の「風よ」は「風の」でもよいのでは

足るを知る境地になれずもう一杯 和昭

無欲になれないのですね

無私無欲高貴にみえて無関心 賢哉

一読明快の句

日溜りで猫と一緒に船を漕ぐ みちえ

絵が見える句

没 集中し無欲恬淡ゾーン入り

「ゾーン入り」：高い集中力を保ち高度の

緊張状態とリラックス状態が適切なバランスを

維持できる状態とある。上五の「集中」と下五の

「ゾーン」の集中と重複しないだろうか

遺言書通帳二十日内降ろす

遺言書に二十日以内に降ろせと書いてあったのでしょうか

自由吟		山岸 順選	第5回 浦安川柳大会	令5年2月
軸 天 地 人		客	秀	
味よりも作法気になるフルコース 直線しか引けぬ男の正義感 大空をまだ見ていない逆上がり 政治家の思い通りになる記憶 スーパーの卵が孵化する温暖化 能登の地にむなしく響く早春賦 マンネリへ少し多めのワサビ溶く お年玉忘れた頃にひ孫でき ラッキーなセブンを期待ゾロ目歳 そのうちに言ってた友が急に逝く 逃亡者死ぬ時名前思い出す 七回目打つてもやまぬコロナ病 ノーマスク深呼吸して春を待つ 勝つまでは記憶喪失押し通す		妻のアレ僕のアレとは一致せず 勝つまでは記憶喪失押し通す ノーマスク深呼吸して春を待つ 七回目打つてもやまぬコロナ病 戦場に黄バラいっぱい咲かせたい 逃亡者死ぬ時名前思い出す そのうちに言ってた友が急に逝く ラッキーなセブンを期待ゾロ目歳 お年玉忘れた頃にひ孫でき マンネリへ少し多めのワサビ溶く 能登の地にむなしく響く早春賦 スーパーの卵が孵化する温暖化 政治家の思い通りになる記憶 大空をまだ見ていない逆上がり 直線しか引けぬ男の正義感 味よりも作法気になるフルコース	青べか賞 何か出ぬものかと壺を振ってみる 準賞 う〜ん旨い！そのひと言が聞きたくて 満月が忘れた恋をノックする 期待（選者：佐藤公江、矢島もとの之） プーチンの心を変える春を待つ ふる里便届いた袖子で身を磨く 百人の友達を待つランドセル 誘う（選者：塩見和昭、森山裕子） 旨い汁吸おうと仲間呼び集め 良妻の仮面をはがす誘い水 命の洗濯などと女のしめし合い 貧者には来ない教団への誘い 誘われた転職先は蟻地獄	太西旅人 光永ひかる 水沢京子 谷口 勝 片瀬流里 高田文子 城野けんじ 佐藤公江 佐藤公江 太西旅人 谷口 勝
自由吟		没句	同上	
コースではゴルフ仲間と果し合い コロナ君大谷の剛球に三振す 震災の明日は我が身と逃げ支度 温暖化花の見頃も先延ばし 綿雪を撮れないままに朝陽さす 雑煮食べ祝う積りが救急車 炬燵の尻やられた猫が痴呆症 国民は辞任と辞職待ってます		ラッキー（選者：谷口勝、磯崎ひろ子） 水仙のつぼみ七つも庭の陰 こぼれ蹴り込み時の人となる 身代わりになつてつづれたヘルメット 書き損じ年賀葉書の大手柄 金額は自分で書けと手切金 紹介状名医に出会い命延び 紹しぎし（選者：城野けんじ） 詰め放題欲も一緒に押し込める 相続の糸が絡んだくされ縁 世渡りの下手な男の摩擦音	杉村春子 塩見和昭 森山裕子 水沢京子 佐藤公江 森山裕子 高田文子 磯崎ひろ子 佐藤公江	
例会のお知らせ	令和6年4月12日(火) 13:00~16:00 富岡公民館 「楽観」 互選 :3句 「けしからん」 二人選 :3句 自由吟 :3句	「犬吠」二月号 掲載会員句	高齢もしゃれたウエアのヨガコース(しだれ) 司馬遼さん好き歴史を学び生き(昇柳) マスク取れ三年振りに飛ばす泡(和昭) 一病を抱え涙腺ゆるくなる(順) 減税の傘をさしても濡れ続け(勝) 百歳を看取る家族に悔いはない(みちえ)	

没句

互選句（無欲）

金よりも勝てるチームに身を委ね

勝てるのが目的なら、欲にならないか
ミュージック良くなる街だ欲無し無理

下六。句意がよくわからない
幸せは笑顔経由で来るらしい

中七の「經由」に一工夫が欲しい
幸せは笑顔が呼んで来るらしい

欲が無いなど一番下手な言
下五に一工夫欲しいのでは

欲が無いなどと見栄はる下手な嘘
日の丸を背負って希むオリピック

中七の「希む」はどう読めば良い？
欲のない母の長生き君の欲

「君」は誰でしょう。貴方でしょうか
百歳へ無欲な母の粗衣粗食

自己負担子供食堂まねできぬ
「それは、そうですね」にならないか

何もいらぬ家族返してこの叫び
拉致家族のことでしょうか

拉致の子が帰れば何も要らぬ親

特殊な表現と誤用

○会話体を考える

会話の言葉遣いをそのまま書き写した文体いわゆる「会話体」の句が目につくようになりました。

① 家事育児自分のためにしましよう

② 美人なのにくわえ煙草は嫌だなあ

③ 長所って鼻につく日もあるのよね

④ 幸せってちよつと苦しいものですね

⑤ 老けたのは夫だけではないのね

後世に残る名作をなどという大上段に振り構えた

勇ましさなどはなく、その軽快さは新しい川柳の

可能性さえ感じさせます。

①②は日常の当たりさわりのない話題を言っている

だけで作者独自の見解が見えません。特別に新しい

意見でもなく、多くの主婦が思っていること説教調

になっているのも気になることです。

一方③④は作者独自の見解をひそませています。

にんげんの長所と短所は表裏一体です。他人の長所を

ほめるのではなく「長所も鼻につく日がある」と

述べているところに独自性があります。

「幸せを失うことの不安感」とか「充実感と緊張感」

など複雑な感情を「ちよつと苦しい」と表現したのも

適格でユニークです。

⑤は他者との会話というよりも自分に言い聞かせている

感じがします。「夫だけが歳を取ったのではない」

という当然のことでありながら認めたくない事実を

しぶしぶ認めようとする語り口が面白い味を出して

います。

会話体の句は思ったことを会話形式に述べるだけです

から簡単に作れそうに思います。舞台裏では苦心惨憺

してようやく、五七五にまとめた句だとしても、

表面的には創作という感じではなく「日常の会話を

持ってきただけ」と単純に受け止められるからです。

従って会話体をつかった川柳は文芸作品として高く

評価されにくいのが残念なところです。

鑑賞 犬吠 令和四年三月号より

フラワールイン

・千紫万紅より

キラキラと過去を暴いていく光

残照へ趣味の欠けらが動きだす

人間にあの夕焼けは作れない

無邪気に帰る古里の茜雲

パンドラの箱から洩れる温暖化

何気なく眺める車窓移りゆく

犬猿がそしらぬ顔で手を繋ぐ

人生をイーブンパーで上がりたい

掃除好きだったらなああの暮迫る

傷ついたイチゴは甘いジャムになる

・黒潮集より

移りゆく街思い出が風化する

粗大ごみ欲しくて買ったものばかり

煩惱に匍匐前進強いられる

しがらみを捨てると爪が丸くなる

新鮮な心で生きる好奇心

金波銀波（各地句会報）より

介護する人にあげたい二十五時

年毎にセレブになってゆく秋刀魚

羽を切ったらここで死んでもいいですか

あれもこれも経年劣化悟る歳

現役のまま居られる趣味の会

心までホットミルクであったまり

嬉しさに淋しさ混ざり嫁がせる

お毒見と言っては鍋の蓋を開け

ぞろぞろとメタボがたまる診療所

少子化に朗報自粛後の産科

大根も育てば味のある役者

何があろうと自分の歩幅維持してる

自粛との折合い悪い好奇心

引き出しの奥で居眠り万歩計

河原田美奈

鴨沢 操

日野裕子

中島常葉

肥後田鶴子

中島かよ

小林洋子

京増京介

藤巻恵子

谷口 勝

池下富裕

増田幸一

五十嵐幸夢

米島暁子

小田春菜

山内幸次

日野裕子

河原田美奈

福島つぐ

門間香津子

村山さなえ

羽柵田廣

鈴木ふみ

竹川芳子

稲沢ひろせ

岡田やほこ

吉田恵子

長谷川しげる

及川正治

互選句 課題「断る」

令和六年 三月例会

浦安とみおか川柳会

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
婚活のごめんなさいが上手くなり	断りはメールでのみで切り抜ける	情報が多くて上手く泳げない	いい加減返上したい地震国	プロポーズ断わるうちが花だった	我ママにわがまま言って断られ	母親へ生き結婚後と断る	何事も大丈夫だと断って	課長の座身入り減るので辞退する	年金を断る文句にしている	受験生親の干渉音をあげる	いつか来る入浴拒否のX日	絶交の友から届く年賀状	先祖の地意地でも避難せぬ古老	瓢箪で今年の干支に平和こめ	スーパードでサンプル購入断られ	オリンピック渋滞橋台沈下あり	上長に飲みに誘われお断り
36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
									良縁を断り続けまだひとり	借金を言い出す友も切り捨てる	古希過ぎて未だ柳になれませぬ	葛西橋新四年責任者都へ	見合いして断る勇気なくて今	飲み放題元は取れぬと涙飲む	訃報受け年賀止めても賀状来る	岸田さん無駄な兵器買わないで	クラス会財布寂しく諦めた